

佐解協第 13 号
令和 8 年 5 月 8 日

佐賀県知事 山 口 祥 義 様

佐賀県唐津市栄町 2 5 8 8 番地 1 1
一般社団法人佐賀県部落解放推進協議会
理 事 長 平 尾 健

佐賀県解放会館の管理運営業務実施報告書の提出について

令和 4 年 3 月 2 5 日に締結した、「佐賀県解放会館の管理運営に関する協定書」第 1 7 条の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

1. 佐賀県解放会館の管理運営業務の実施状況
2. 佐賀県解放会館の利用状況（利用者数、利用拒否等の件数、その理由等）
3. 佐賀県解放会館の利用料金の収入実績

1. 管理運営業務の実施状況

(1) 施設の運営に関する業務

1) 啓発資料の展示

- ① 玄関ロビーを利用して、人権パネル展示を行なっている。(常時)
- ② 玄関ロビーに、人権(同和)問題に関する資料・パンフレットを持ち帰り学習していただくために用意している。
- ③ 人権啓発DVDや図書資料の貸出ができるように、推進協議会事務所(1階)に準備している。また、ホームページで資料一覧が閲覧できるようにしている。
- ④ テレビ・プレーヤー(DVD・ビデオ)を、学習室(2階)に設置し、視聴覚教材をいつでも観られるように準備している。

※ 人権啓発DVD貸出数：4回、延べ4本。貸出先は、唐津市内の幼稚園、唐津市立小学校、佐賀部落解放研究所である。

※ 玄関ロビーやトイレの一般開放により、啓発展示資料をより多くの人に見てもらう機会を増やしている。

2) 会議室・学習室・相談室の利用

- 佐賀部落解放研究所(監査・事務指導)
- 部落解放・人権政策確立要求佐賀県実行委員会(事務局会議・監査)
- 部落解放同盟佐賀県連合会(会議・研修会・監査・事務指導)
- 唐津人権擁護委員協議会(男女参画部会会議・子どもの人権対策部会会議・人権作文審査)
- 一般社団法人佐賀県部落解放推進協議会(会議・研修会・事務指導・工事関係者会議)
- 佐賀県高等学校人権・同和教育研究会(会議)
- 唐津市立高島小学校(食物アレルギー対応保護者会議)
- 唐津市立浜玉中学校(中学校社会科初任者研修会)
- (株)エディオン(小店舗店主連絡会議)
- 医療生協唐津支部(会議)
- 唐津民主商工会(集会)
- はなみずき会(音楽サークル活動)

3) 主催事業(佐賀県解放会館 りぶず を会場とした啓発関係事業)

同和問題をはじめとする、あらゆる差別をなくすための啓発事業を、一般社団法人佐賀県部落解放推進協議会主催事業として、次のように実施した。

- ① 同和問題県民対象研修会 7月22日開催(参加者数：229名)
- ② 差別の現実に学ぶ研修会 10月16日開催(参加者数：197名)
- ③ 同和問題集中講座 11月7日開催(参加者数：166名)
- ④ 同和問題地区別研修講座担当課長会 11月12日開催(8市課長が参加)
- ⑤ 啓発協力員会連絡会 7月8日、12月9日、3月10日開催(参加者数：のべ40名)

4) 広報業務

会議室利用促進を図るため、人権・同和問題に関わる団体や学校・行政関係者、および、一般サークル団体関係者などに対し、会館パンフレット(改訂版)を用いたり、スマホからホームページを開いてもらったりして、会館利用を呼びかけ、スマホ・パソコンからの会議室オンライン予約について紹介した。

令和7年度の呼びかけ回数等については、次表のとおり。

働きかけの対象者	働きかけた回数(回)	そのうち会館利用につながったと思われる回数(回)
人権・同和対策関係者	11	3
上記以外	26	5
合計	37	8

なお、ホームページや館内ホールの「お知らせ」・「人権・同和問題『学び』」コーナーで、人権・同和問題に関する資料や行事案内、関係機関行事などの紹介も行っている。

(2) 施設の維持・管理に関する業務

1) 建物管理

① 清掃業務委託

内 容	数量	単価 (円)	金額 (円)
1. 日常業務清掃 1 (月 7 回、日 4 時間)	12ヶ月	46,410	556,920
2. 日常業務清掃 2 (月 1 回)	12ヶ月	1,600	19,200
3. 定期清掃			
① 床清掃	1回		214,400
② 窓清掃	1回		48,180
※ 端数調整			-700
消費税 (10%)			83,800
合 計			921,800

② 警備業務委託 (月当初に、前月分警備報告書提出)

警備方法は、機械警備 (1階：各部屋、2階：部落解放同盟佐賀県連合会事務室・役員室・佐賀部落解放研究所事務室・学習室・3階：廊下) を、センサーによる警備で行い、センサー作動の場合は警備員が出動、巡回する。異常がない場合は、作動出動報告の提出により確認する。(※ 緊急事態発生の場合は、緊急連絡簿により関係者へ連絡)
年間警備委託契約料は、448,800円 (月払/消費税込：37,400円)

③ 一般廃棄物収集委託

佐賀県解放会館の清掃に伴うゴミ等の収集を週1回行う。
年間委託契約料は、132,000円 (月払/消費税込：11,000円)

④ 樹木管理業務委託

佐賀県解放会館の敷地内の樹木等の管理 (剪定2回、消毒1回) を行う。
年間委託契約料は、59,439円 (都度払/消費税込)

2) 設備機器管理 (点検報告書の提出)

① 一般電気工作物の管理業務委託

3ヶ月に1回の点検を行ない、不備補修などの指導があった場合は、すばやく改善の対処をし、来館者・館内職員の安全に努めている。

年間委託契約料は、75,240円 (年一括払/消費税込)
 [管理業務：17,100円×4回=68,400・消費税(10%)：1,710×4回]

② 消防設備保守点検業務委託

年間2回（総合点検：9月2日実施、機器点検：3月9日実施）の点検を行ない、総合点検終了後に、結果報告を唐津消防署長にする。

機器の不備及び改善箇所がある場合は、速やかに改善措置をとり、来館者・館内職員の安全に努めている。

年間委託契約料は、1 0 3, 4 0 0 円（年2回点検時払/消費税込）

〔総合点検：61,600円・機器点検：41,800円〕

また、平成18年度より、防火対象物に係る特例認定のための立ち入り検査を受け、『防火対象物に係る特例認定』を受けている。

※ 平成18年11月6日から(3年間)、平成21年更新(3年間)、平成24年更新(3年間)、平成27年更新(3年間)、平成31年更新(3年間)、令和4年更新(3年間)

【※ 令和7年1月14日から3年間、特例認定継続中】

③ 空調機器（冷暖房）保守管理業務委託

内 容	数量	金額 (円)	備考
ガスエンジン空調機GHP（大会議室）	年1回	144,000	(36,000円×4台)
大会議室室内機	年1回	56,000	(28,000円×2台)
各階空調機点検及びフィルター清掃	年2回	30,000	(一式)
諸経費		20,000	(一式)
消費税及び地方消費税（10%）		25,000	
合 計		275,000	

④ エレベーターリモートメンテナンス

内 容	数量	単価 (円)	金額 (円)
基本料金	12ヶ月	40,000	480,000
機器保証	12ヶ月	19,000	228,000
防犯カメラ（録画）	12ヶ月	4,000	48,000
消費税及び地方消費税（10%）			75,600
合 計			831,600

⑤ 電話設備保守点検業務委託

令和7年度契約料は、1 7 1, 6 0 0 円（一括払/消費税込）

〔令和7年4月～令和8年3月（12ヶ月）：9,300円×12ヶ月＋（消費税10%）〕

〔電話交換設備保守点検（6ヶ月毎1回実施：22,200円×2）＋（消費税10%）〕

※ 電話機器交換に伴う設備保守点検を令和2年10月から開始。

◎ **【保守点検・保守管理・業務委託費用の合計：3,018,879円】**

3) 備品管理

備品台帳（別紙）に記載し、管理している。

年度当初備品 数量： 7 2,295,500円

年度中増減 数量： 0 0円

年度末備品 数量： 7 2,295,500円

4) 小規模修理の状況

No	修 繕 箇 所	金額/税込 (円)
1	大会議室・1階廊下 誘導灯・煙感知器取替工事	95,700
2	2階給湯室 給水管水漏れ工事	16,500
3	大会議室 親機② 室外機ミキサー部品交換	91,300
4	各階 (3か所) 防火シャッターバッテリー交換	85,800
5	階段下 電話交換機バッテリー交換	68,420
6	2階学習室 ブラインド修理 (2台)	33,000
7	1階南側出入口 大会議室 誘導灯予備電池交換 (1か所) 客席誘導灯 (2か所)	58,300
8	2階役員室 コンセント取替 (コンセント代のみ)	758
9	会館内 コンセント取替工事 (11か所)	27,500
10	玄関横 窓 ロールスクリーン取替工事	29,700
11	1階事務室 L E D照明取替工事	126,500
	合 計	633,478

2. 佐賀県解放会館の利用状況

・令和7年度利用者数 1,690人 (うち有料: 1,178人)

<内訳>

(人)

年度	有料利用者 (会議室)	無料利用者 (相談室・学習室)	合計
令和7年度	1,178	512	1,690
令和6年度	1,467	534	2,001
令和5年度	1,603	330	1,933

・利用拒否等の件数 0件

・その理由等 なし

3. 佐賀県解放会館の利用料金の収入実績

佐賀県解放会館 管理運営業務

”有料”会場利用実績及び利用料収入実績

部屋	大会議室			第1会議室			第2会議室			合計		
	回	人数	金額(円)	回	人数	金額(円)	回	人数	金額(円)	回	人数	金額(円)
4月							1	30	5,140	1	30	5,140
5月				1	17	2,570				1	17	2,570
6月	1	120	4,620	1	25	4,110				2	145	8,730
7月	1	240	7,710	2	41	8,220				3	281	15,930
8月										0	0	0
9月										0	0	0
10月	1	216	7,710							1	216	7,710
11月	1	180	4,110	1	9	2,570				2	189	6,680
12月				2	39	8,220				2	39	8,220
1月							1	10	2,560	1	10	2,560
2月							1	10	4,110	1	10	4,110
3月	1	200	16,960	2	41	8,220				3	241	25,180
合計	5	956	41,110	9	172	33,910	3	50	11,810	17	1,178	86,830
R6	7	1,245	60,120	11	202	36,440	2	20	6,670	20	1,467	103,230

”無料”会場利用実績

部屋	相談室		学習室		合計	
	回	人数	回	人数	回	人数
4月	2	14	1	2	3	16
5月	5	34	2	11	7	45
6月	5	42	4	25	9	67
7月	6	47	2	11	8	58
8月	4	27	0	0	4	27
9月	5	36	3	25	8	61
10月	5	42	1	9	6	51
11月	4	32	2	13	6	45
12月	3	14	1	9	4	23
1月	5	48	2	16	7	64
2月	4	31	1	9	5	40
3月	3	15	0	0	3	15
合計	51	382	19	130	70	512
R6	55	444	14	90	69	534

利用団体一覧

No	利用回数		利用団体名
	合計	(うち有料)	
1	28	(0)	はなみずき会
2	11	(7)	部落解放同盟佐賀県連合会
3	11	(0)	唐津人権擁護委員協議会
4	10	(8)	(一社)佐賀県部落解放推進協議会
5	10	(0)	部落解放・人権政策確立要求佐賀県実行委員会
6	5	(0)	佐賀部落解放研究所
7	4	(0)	佐賀県高等学校人権同和教育研究会
8	3	(0)	(株)エディオン
9	2	(0)	高島小学校
10	1	(1)	医療生協 唐松支部
11	1	(1)	唐津民主商工会
12	1	(0)	浜玉中学校
計	87	(17)	
R6	89	(20)	

〈参考〉・ No1 は、津軽スコープ三味線サークルの練習会場としての利用
 ・ No12 は、教職員初任者研修(中学校社会科)会場としての利用

”有料”会場利用団体の利用内容

利用年月日	会場名	利用団体名	利用内容(行事)名
R7. 4. 18	第2会議室	医療生協唐松支部	唐松支部総会
R7. 5. 15	第1会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度第1回理事会
R7. 6. 4	第1会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	第64期第4回県連委員会
R7. 6. 29	大会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	部落解放同盟第65回佐賀県連大会
R7. 7. 8	第1会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度 第1回啓発協力員会
R7. 7. 22	大会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度同和問題県民対象研修会
R7. 7. 23	第1会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	第65期第1回県連委員会
R7. 10. 16	大会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度 差別の現実に学ぶ研修会
R7. 11. 7	大会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度 同和問題集中講座
R7. 11. 11	第1会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度担当課長会
R7. 12. 9	第1会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度 第2回啓発協力員会
R7. 12. 11	第1会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	第65期第2回県連委員会
R8. 1. 26	第2会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	九プロ2025年度中小企業振興会事前説明会
R8. 2. 16	第2会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	九プロ2025年度中小企業振興会相談学習会
R8. 3. 10	第1会議室	(一社)佐賀県部落解放推進協議会	令和7年度 第3回啓発協力員会
R8. 3. 13	大会議室	唐津民主商工会	第53回重税反対統一行動唐津地区集会
R8. 3. 25	第1会議室	部落解放同盟佐賀県連合会	第65期第3回県連委員会

別紙

備品一覧

分類			品名	規格	数量	単価	金額	備考
大	中	小						
1	1	1	両袖机	トヨセット1号	1	50,500	50,500	
1	8	1	応接セット	プラス JOIFA331	1	210,000	210,000	
10	36	3	映写機	エイキ16mm SL-1	1	202,000	202,000	
10	36	3	映写機	エイキ16mm NT-1	1	265,000	265,000	
10	36	3	映写機	エイキスライド クセノンEX	1	487,000	487,000	
10	36	12	映写用スクリーン	スプリングロー ラー式	1	112,000	112,000	
21	101	8	緞帳		1	969,000	969,000	
				合計	7		2,295,500	

佐解協第 16 号
令和8年5月29日

佐賀県知事 山口 祥 義 様

佐賀県唐津市栄町2588番地11
一般社団法人佐賀県部落解放推進協議会
理事長 平 尾 健

佐賀県解放会館の管理運営業務実施報告書の提出について

令和4年3月25日に締結した、「佐賀県解放会館の管理運営に関する協定書」第17条の規定に基づき下記のとおり報告します。

なお、報告済（3件）は、令和8年5月8日付、佐解協第13号で報告しています。

記

1. 佐賀県解放会館の管理運営業務に要する経費の収支決算
2. その他甲が必要と認める事項

報告済

1. 佐賀県解放会館の管理運営業務の実施状況
2. 佐賀県解放会館の利用状況（利用者数、利用拒否等の件数、その理由等）
3. 佐賀県解放会館の利用料金の収入実績

1. 管理運営業務に要する経費の収支決算

正味決算書(管理受託事業費)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減
I. 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
特定資産利息収入	0	0	0
事業収益	19,277,000	19,259,830	17,170
受取施設利用料収入	104,000	86,830	17,170
受託委託料収入	19,173,000	19,173,000	0
受取補助金等	78,000	77,712	288
受取民間助成金収入	78,000	77,712	288
受取負担金	370,000	357,104	12,896
負担金収入	370,000	357,104	12,896
雑収入	1,000	13,692	△ 12,692
受取利息収入	1,000	13,692	△ 12,692
雑収入	0	0	0
経常収益計	19,726,000	19,708,338	17,662
(2) 経常費用			
事業費	19,726,000	19,460,374	265,626
給料手当	10,480,000	10,822,175	△ 342,175
退職給付費用	0	0	0
法定福利費	1,500,000	1,499,896	104
福利厚生費	228,000	215,149	12,851
減価償却費	0	0	0
支払手数料	276,000	274,877	1,123
旅費交通費	6,000	3,150	2,850
通信運搬費	161,000	144,990	16,010
消耗品費	170,000	155,281	14,719
修繕費	654,000	633,478	20,522
印刷製本費	52,000	49,307	2,693
光熱水料費	1,500,000	1,355,088	144,912
事務用品費	100,000	96,414	3,586
保険料	12,000	11,260	740
租税公課	1,300,000	1,046,100	253,900
広告宣伝費	130,000	129,630	370
委託費	3,151,000	3,018,879	132,121
諸会費	4,000	3,500	500
什器備品費	0	0	0
雑費	2,000	1,200	800
経常費用計	19,726,000	19,460,374	265,626
評価損益等調整前当期経常増減額	0	247,964	△ 247,964
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	247,964	△ 247,964
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他経常外収益	0	0	0
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
その他経常外費用	0	0	0
過年度租税公課	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	247,964	△ 247,964
一般正味財産期首残高	5,851,987	5,859,449	△ 7,462
一般正味財産期末残高	5,851,987	6,107,413	△ 255,426
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	5,851,987	6,107,413	△ 255,426

管理運営業務に関する収支予算・決算比較表

1 収入計画

(単位：円)

区 分	当初計画	決算額	比 較
受託委託料収入	19,173,000	19,173,000	0
受取施設利用料収入	104,000	86,830	△ 17,170
その他の収入	449,000	448,508	△ 492
負担金収入	370,000	357,104	△ 12,896
受取民間助成金収入	78,000	77,712	△ 288
特定資産利息収入	0	0	0
受取利息収入	1,000	13,692	12,692
雑収入	0	0	0
合 計	19,726,000	19,708,338	△ 17,662

2 支出計画

(単位：円)

区 分	当初計画	決算額	比 較
人件費	11,980,000	12,322,071	342,071
常勤勤務	10,665,000	10,813,007	148,007
その他	1,315,000	1,509,064	194,064
施設維持管理費	6,316,000	5,962,573	△ 353,427
運営費	1,011,000	955,128	△ 55,872
維持費	1,500,000	1,355,088	△ 144,912
委託費	3,151,000	3,018,879	△ 132,121
建物修繕費	654,000	633,478	△ 20,522
事業費	130,000	129,630	△ 370
広告宣伝費	130,000	129,630	△ 370
租税公課	1,300,000	1,046,100	△ 253,900
租税公課	1,300,000	1,046,100	△ 253,900
減価償却費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
合 計	19,726,000	19,460,374	△ 265,626

3 管理運営費積算

(単位：円)

区 分	当初計画	決算額	比 較
人件費	11,980,000	12,322,071	342,071
給料手当	10,480,000	10,822,175	342,175
法定福利費	1,500,000	1,499,896	△ 104
退職給付費用	0	0	0
運営費	1,011,000	955,128	△ 55,872
福利厚生費	228,000	215,149	△ 12,851
支払手数料	276,000	274,877	△ 1,123
旅費交通費	6,000	3,150	△ 2,850
通信運搬費	161,000	144,990	△ 16,010
消耗品費	170,000	155,281	△ 14,719
印刷製本費	52,000	49,307	△ 2,693
事務用品費	100,000	96,414	△ 3,586
保険料	12,000	11,260	△ 740
諸会費	4,000	3,500	△ 500
什器備品費	0	0	0
雑費	2,000	1,200	△ 800
維持費	1,500,000	1,355,088	△ 144,912
電気料	1,260,000	1,165,283	△ 94,717
水道料	130,000	113,150	△ 16,850
下水道料	20,000	14,527	△ 5,473
ガス代	90,000	62,128	△ 27,872
委託費	3,151,000	3,018,879	△ 132,121
警備業務委託	449,000	448,800	△ 200
清掃業務委託	922,000	921,800	△ 200
一般廃棄物収集委託	132,000	132,000	0
樹木剪定	191,000	59,439	△ 131,561
消防設備点検業務委託	104,000	103,400	△ 600
電気設備保安業務委託	75,000	75,240	240
空調機器保守管理業務委託	275,000	275,000	0
エレベーターリモートメンテナンス	832,000	831,600	△ 400
A E D リース	0	0	0
電話設備保守点検業務委託	171,000	171,600	600
その他(書類・PC処分)	0	0	0
建物修繕費	654,000	633,478	△ 20,522
経常経費	654,000	633,478	△ 20,522
事業費	130,000	129,630	△ 370
広告宣伝費	130,000	129,630	△ 370
租税公課	1,300,000	1,046,100	△ 253,900
租税公課	1,300,000	1,046,100	△ 253,900
減価償却費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
合 計	19,726,000	19,460,374	△ 265,626

2. その他甲が必要と認める事項

佐賀県解放会館の維持管理に関する自己評価

(1) 施設管理業務について

1) 利用実績

<表1>より、令和7年度は、これまで増加傾向にあった有料、無料を合わせた会議室の利用者数が、令和5,6年度と比較してともに減少した。また、有料会議室（特に大会議室）利用回数の減少に伴い、料金収入も減少している。

<表1> 会議室別利用状況一覧

	<有料>会議室利用状況						<無料>利用者(人)		利用者計(人)
	大	第1	第2	計(回)	料金(円)	人数(人)	相談室	学習室	
令和7年度	5	9	3	17	86,830	1,178	382	130	1,690
令和6年度	7	11	2	20	103,230	1,467	444	90	2,001
令和5年度	6	13	4	23	108,390	1,603	275	55	1,933
令和4年度	12	7	1	20	116,640	815	232	87	1,134
令和3年度	12	5	3	20	114,570	497	166	127	790

<表2> 会議室利用団体別利用回数の推移

利用団体名	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
はなみずき(スコープ三味線)	3	8	18 (1)	20	24	28
部落解放同盟佐賀県連合会	16 (9)	16 (10)	19 (11)	11 (9)	16 (9)	11 (7)
唐津人権擁護委員協議会				13 (1)	15	11
(一社)佐賀県部落解放推進協議会	11 (9)	10 (9)	10 (9)	10 (9)	16 (8)	10 (8)
部落解放・人権政策確立要求県実行委				5	8 (1)	10
佐賀部落解放研究所	1	1	1	3	2	5
佐賀県高等学校人権同和教育研究会			2			4
(株)エディオン						3
高島小学校				1 (1)		2
唐津民主商工会				1 (1)	1 (1)	1 (1)
医療生協唐松支部						1 (1)
浜玉中学校						1
唐松退職校長会				2 (2)	4 (1)	
佐賀県建築住宅課					2	
佐賀県人権・同和对策課		1			1	
唐津地区人権・同和教育研究会			3			
唐松地区退職女性教育管理職の会		2 (1)				
福よこいよ(南京玉すだれ)	11	4				
利用回数合計	42 (18)	42 (20)	53 (21)	66 (23)	89 (20)	87 (17)
人権・同和問題に関する利用	28 (18)	28 (19)	35 (20)	43 (20)	51 (18)	52 (15)
それ以外の利用	14	14 (1)	18 (1)	23 (3)	38 (2)	35 (2)
<参考> 利用者数合計(人)	1,329	1,401	1,534	1,933	2,001	1,690
人権・同和問題に関する利用	1,219	1,286	1,371	1,554	1,559	1,281
それ以外の利用	110	115	163	379	442	409

利用状況を詳しく見るために、コロナ禍で利用に制限のあった令和元～4年度を除いた前後の3年間で、利用団体別の利用回数の推移を調べたのが<表2>である。

<表2>から、コロナ禍以前と比べ、以降は利用団体数、回数ともに増えていること、また、人権・同和問題に関する利用もそれ以外の利用もともに増えていることが分かる。

令和5年度は佐賀県水平社創立百周年記念のイベント(約240人)、令和6年度は映画上映会(約200人)や大規模改修工事関係者打合せ会議(のべ75人)など、特別な行事等があったことにより利用者数が増えている、その分の人数を差し引けば、コロナ禍が明けた令和5年度以降の3年間の利用者数はほぼ横ばいとなっている。

2) 利用状況分析

開館日は年間約240日であり、利用者数が増えたとは言え、会議室利用回数はおよそ3日に1回、また、利用者数は7～8人/日と少ない状況にある。

有料である会議室の利用が減少傾向にあることについては、利用者アンケートや聞き取り等の結果から、当館よりも利用料金が安く駐車場が広い近隣の公民館等の施設が、利用者選ばれているものと考えられる。

会議室利用団体数が増えたことについては、会議室利用促進のため、令和5年度にホームページのリニューアルとパンフレットの作成を行い、人権・同和対策関係者だけでなく、各種サークル・団体の関係者にも、機会を見つけて利用を呼びかけた効果が大きいと考える。

3) 今後の課題

まず、会議室利用促進のため、ホームページによる情報発信とパンフレット活用などによる利用促進の呼びかけを続け、利用団体を増やしていきたい。

多くの集客数が見込めるイベント(映画上映会、人権フェスタ、など)の開催を実現することで、利用者数を増やしていきたい。

今年度は5年に一度の指定管理者申請の年度に当たるので、料金設定の見直しを行いたい。

(2) 会計事務について

1) 収入計画比較表に関すること

令和7年度は、ほぼ計画通りの決算となったが、会議室利用による収入である「受取施設利用料収入」は約17%減であった。令和8年度は、まず、会議室利用による収入増を目指し、例年通り計画している講演会、研修会等を確実に実施することに加えて、大会議室を利用し多くの集客数が見込めるイベントの開催を実現することで、「受取施設利用料収入」を増やしていきたい。

「受取利息収入」の増は預金金利の上昇によるものであるが、加えて、令和7年度に「流動資産の一部を定期預金へ移す」案件を進めたことにより、令和8年度以降、さらに利息収入増が見込めると考える。

2) 支出計画比較表に関すること

① 人件費に関すること

「給料手当」の増は人事院勧告による給与改定に伴うものである。その予算を確保するためには、他の費目の支出を抑えることが必要となる。そのため、県と連絡を

取り合いながら情報共有を進め、(一社)佐賀県部落解放推進協議会給与規程等に則った運用を行っていく。

② 運営費に関すること

令和7年度も、人件費の増額に対応できるよう、全ての費目で節約を進め、支出を抑えることができた。

③ 維持費に関すること

電気代については、約7.5%支出額を抑えることができた。それは、国の負担軽減措置(5か月分)があったことや、館内電灯のLED化が進んだことと日頃の節電効果によるものと考えられる。

上下水道代については、唐津市の減免措置(1か月分)もあり約14%支出を抑えることができた。

ガス代については、冷暖房を使用する季節の大会議室利用が、当初見込みより2回少なかったことにより、約31%減額となった。

令和8年度も、クールビズ、ウォームビズの取組推進やLED照明への取替などにより、省エネ、節約に努めていく。

④ 委託費に関すること

人件費・資材費等の高騰で、令和7年度も、委託契約料を上げたいという業者の意向に沿いながら予算を組み、ほぼ当初計画通りの予算執行ができた。

その中で、「樹木剪定」については、業務委託の回数を減らし、不足分の作業は職員で作業を行ったため、約69%支出を抑えることができた。

⑤ 建物修繕費に関すること

予算の範囲内で、無駄のない予算執行を進めることができた。ただし、令和7年度中に完了を予定していたLED照明への取替工事については、まだ済んでいない箇所があり、令和8年度中の完了を目指している。

喫緊の課題である老朽化した空調設備の問題については、設置から15年という県の取替えの基準を超えていることや、塩害による室外機の腐食が進んでいることなど、県担当者と連絡を取り合いながら計画的に取替工事を進めているところである。

⑥ 事業費に関すること

予算額の範囲内で、啓発グッズやパンフレットの作成・配布を行い、事業の周知など広告宣伝の効果を高めることができた。

⑦ 租税公課に関すること

当初計画より決算額が減っているのは、昨年度と比べて支出額が増えたことにより、法人税支出額が減ったためである。

(3) 取り組み全般について

1) 佐賀県解放会館での研修会・講座・会議の実施

令和7年度は、(一社)佐賀県部落解放推進協議会主催事業を、解放会館を会場として8回(理事会1、担当課長会1、啓発協力員連絡会3、同和問題研修会3)実施した。県関係者や市町担当者等に足を運んでもらい、会館を活用していただくことの意味は大きいと考える。

一方で、従来年2回解放会館で開催していた担当課長会については、業務効率化や担当者の負担軽減等の観点から、令和6年度より、1回を県人権・同和对課主催の課長会

と同日同会場開催にしたことで、解放会館使用回数が1回減り、さらに来年度には、あと1回の会議についてもオンラインでの開催を予定している。こうしたケースについては、利用回数・利用者数がマイナス実績になることとの兼ね合いで考えていきたい。

2) 啓発資料の展示と教材等の貸出

令和5年度末にリニューアルしたホームページを利用して、部落差別（同和問題）・人権問題に関する学習・啓発のための教材（図書・DVD）等の情報を入手し、研修等での活用を検討されたケースなどあったが、DVD貸出件数は令和6年度同様5件と少なかった。

しかし、市町講座や地区別研修講座など主催事業での活用も合わせると、令和6年度同様、年間のべ30回の活用ができています。ただ、予算執行の見通しが不透明だったこともあって新しい教材の購入ができなかった。令和8年度は、こうした研修講座で活用できるDVD教材を購入予定である。

玄関ホールに設置している部落差別（同和問題）・人権問題に関する展示するコーナーは、掲示資料や読み物資料等を来館者に見てもらえるように定期的に更新していくとともに、啓発グッズや小冊子等を自由に持ち帰られるようにして、啓発の効果を高めることに努めた。

3) 施設利用の促進拡大

令和7年度は、これまで同様、部落差別（同和問題）に限らず、広く人権問題の学習・研修の場として会議室等を提供している。特に、人権問題にかかわる様々な取組に参加することで、諸団体と協力関係を結びながら会館利用団体が増えるように努めた。

また、人権・同和問題に関する利用に限らず、地域の方たちが気軽に集まる交流の場として施設を利用できることについても、機会を見つけて呼びかけを続けてきた。

これらのことは、「同和問題に関し、県民の理解と認識を深めてその解決を図り、併せて広く県民福祉の向上に資する」（「佐賀県解放会館条例」第1号）とされる解放会館の設置目的に沿っていると考えている。

4) 今後の課題

令和8年度も、関係機関・団体との連携を図り、利用者アンケート等も活用しながら、改善出来るところは即時対応し、4ページ「3) 今後の課題」で述べた

- ホームページによる情報発信、パンフレット活用などによる利用促進の呼びかけで利用団体を増やす。
- 多くの集客数が見込めるイベントの開催で利用者数を増やす。
- 5年に一度の指定管理者申請に合わせ、料金設定の見直しを行う。

の実現を目指しながら、上記解放会館の設置目的に沿った運営に取り組んでいく。

また、安心・安全に解放会館を活用していただけるために、昨年度に引き続き、年2回の火災避難訓練やAED研修を館内で実施して、火災など事故の無い施設の維持管理に努めたい。